

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年6月17日(2010.6.17)

【公開番号】特開2008-272222(P2008-272222A)

【公開日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-045

【出願番号】特願2007-119549(P2007-119549)

【国際特許分類】

D 0 6 F	25/00	(2006.01)
D 0 6 F	58/02	(2006.01)
D 0 6 F	33/02	(2006.01)
D 0 6 F	58/28	(2006.01)
D 0 6 F	58/22	(2006.01)

【F I】

D 0 6 F	25/00	A
D 0 6 F	58/02	Q
D 0 6 F	33/02	P
D 0 6 F	58/28	C
D 0 6 F	58/22	

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月23日(2010.4.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外槽と、洗濯物を収納すると共に前記外槽内に回転自在に設けられて、洗濯、すすぎ、脱水及び乾燥運転が可能な内槽と、該内槽内に送風する送風手段と、該送風手段により送風される空気を加熱する加熱手段と、前記洗濯物から発生する糸くず等を捕獲する防塵フィルターと、前記内槽に取着されると共に前記防塵フィルターに捕獲された糸くず等を除去する除塵体とを有し、前記内槽の回転時に発生する遠心力によって前記除塵体を、前記防塵フィルターと重なる位置へ移動させるようにした洗濯乾燥機。

【請求項2】

除塵体はブラシ部材を備え、該ブラシ部材を防塵フィルターの表面に摺接させて糸くず等を除去するようにした請求項1に記載の洗濯乾燥機。

【請求項3】

内槽の回転数が、脱水運転時の回転数に達したときに、除塵体を防塵フィルターと重ならない位置へ移動させるようにした請求項1又は2に記載の洗濯乾燥機。

【請求項4】

外槽と、洗濯物を収納すると共に前記外槽内に回転自在に設けられて、洗濯、すすぎ、脱水及び乾燥運転が可能な内槽と、該内槽内に送風する送風手段と、該送風手段により送風される空気を加熱する加熱手段と、前記洗濯物から発生する糸くず等を捕獲する防塵フィルターと、前記内槽に取着され前記防塵フィルターに捕獲された糸くず等を除去する除塵体と、該除塵体に連結されると共に温度を感知すると動作する温度感知部材とを備え、該温度感知部材は、乾燥運転時に前記加熱手段によって加熱された空気の温度を感知すると、前記除塵体を前記防塵フィルターに当接させるようにした洗濯乾燥機。

【手続補正2】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0009**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0009】**

前記従来の課題を解決するために、本発明の洗濯乾燥機は、外槽と、洗濯物を収納すると共に前記外槽内に回転自在に設けられて、洗濯、すすぎ、脱水及び乾燥運転が可能な内槽と、該内槽内に送風する送風手段と、該送風手段により送風される空気を加熱する加熱手段と、前記洗濯物から発生する糸くず等を捕獲する防塵フィルターと、前記内槽に取着されると共に前記防塵フィルターに捕獲された糸くず等を除去する除塵体とを有し、前記内槽の回転時に発生する遠心力によって前記除塵体を、前記防塵フィルターと重なる位置へ移動させるようにしたもので、除塵体で防塵フィルターに付着した糸くず等を自動的にかつ確実に除去できる。また、内槽の回転数が、洗濯やすすぎ運転時の回転数より高い乾燥運転時の回転数まで上昇したときに、除塵体が防塵フィルターと重なる位置まで移動するように設定すれば、乾燥運転時に、除塵体を防塵フィルターに摺接させて効率的に糸くず等を除去して、乾燥効率の低下を防止でき、また、除塵体が、洗濯やすすぎ運転時に必要に防塵フィルターに摺接することが無いので、除塵体や防塵フィルターの耐久性が大幅に向上する。

【手続補正3】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0010**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0010】**

また、本発明の洗濯乾燥機は、外槽と、洗濯物を収納すると共に前記外槽内に回転自在に設けられて、洗濯、すすぎ、脱水及び乾燥運転が可能な内槽と、該内槽内に送風する送風手段と、該送風手段により送風される空気を加熱する加熱手段と、前記洗濯物から発生する糸くず等を捕獲する防塵フィルターと、前記内槽に取着され前記防塵フィルターに捕獲された糸くず等を除去する除塵体と、該除塵体に連結されると共に温度を感知すると動作する温度感知部材とを備え、該温度感知部材は、乾燥運転時に前記加熱手段によって加熱された空気の温度を感知すると、前記除塵体を前記防塵フィルターに当接させるようにしたもので、除塵体で防塵フィルターに付着した糸くず等を自動的にかつ確実に除去できる。また、乾燥運転時にのみ、除塵体を防塵フィルターに当接させて、効率的に糸くず等を除去して乾燥効率の低下を防止すると共に、除塵体が、洗濯やすすぎ運転、脱水運転時に必要に防塵フィルターに当接することが無いので、除塵体や防塵フィルターの耐久性が大幅に向上する。

【手続補正4】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0012**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0012】**

第1の発明は、外槽と、洗濯物を収納すると共に前記外槽内に回転自在に設けられて、洗濯、すすぎ、脱水及び乾燥運転が可能な内槽と、該内槽内に送風する送風手段と、該送風手段により送風される空気を加熱する加熱手段と、前記洗濯物から発生する糸くず等を捕獲する防塵フィルターと、前記内槽に取着されると共に前記防塵フィルターに捕獲された糸くず等を除去する除塵体とを有し、前記内槽の回転時に発生する遠心力によって前記除塵体を、前記防塵フィルターと重なる位置へ移動させるようにしたもので、除塵体で防塵フィルターに付着した糸くず等を自動的にかつ確実に除去できる。また、内槽の回転数

が、洗濯やすすぎ運転時の回転数より高い乾燥運転時の回転数まで上昇したときに、除塵体が防塵フィルターと重なる位置まで移動するように設定すれば、乾燥運転時に、除塵体を防塵フィルターに摺接させて効率的に糸くず等を除去して、乾燥効率の低下を防止でき、また、除塵体が、洗濯やすすぎ運転時に不必要に防塵フィルターに摺接することが無いので、除塵体や防塵フィルターの耐久性が大幅に向上する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

第2の発明は、特に、第1の発明の除塵体は、ブラシ部材を備え、該ブラシ部材を防塵フィルターの表面に摺接させて糸くず等を除去するようにしたので、防塵フィルターの表面がブラシ部材で擦られるので、防塵フィルターの表面に捕獲された糸くず等を確実に除去することができる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

第3の発明は、特に、第1又は第2の発明の内槽の回転数が、脱水運転時の回転数に達したときに、除塵体を防塵フィルターと重ならない位置へ移動させるようにしたので、脱水運転時に除塵体を防塵フィルターと重ならない位置へ移動させることにより、高速で回転する除塵体が防塵フィルターに摺接することによる破損を防止することができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

第4の発明は、外槽と、洗濯物を収納すると共に前記外槽内に回転自在に設けられて、洗濯、すすぎ、脱水及び乾燥運転が可能な内槽と、該内槽内に送風する送風手段と、該送風手段により送風される空気を加熱する加熱手段と、前記洗濯物から発生する糸くず等を捕獲する防塵フィルターと、前記内槽に取着され前記防塵フィルターに捕獲された糸くず等を除去する除塵体と、該除塵体に連結されると共に温度を感知すると動作する温度感知部材とを備え、該温度感知部材は、乾燥運転時に前記加熱手段によって加熱された空気の温度を感知すると、前記除塵体を前記防塵フィルターに当接させるようにしたので、除塵体で防塵フィルターに付着した糸くず等を自動的にかつ確実に除去できる。また、乾燥運転時にのみ、除塵体を防塵フィルターに当接させて、効率的に糸くず等を除去して乾燥効率の低下を防止すると共に、除塵体が、洗濯やすすぎ運転、脱水運転時に不必要に防塵フィルターに当接することが無いので、除塵体や防塵フィルターの耐久性が大幅に向上する。